

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

持ち物も個別最適なものへ ～必要な物を自分で考える力を育てる～

教科書・資料集を学校に置いたままにし、タブレット端末と筆記用具等、必要最低限のものをかばんに入れて登下校する「らくらく登校」を実施しています。アンケートでは、保護者の約9割、児童生徒の約8割が肯定的な評価をしています。携行品の軽減という面だけでなく、学校と同様に家庭でもタブレット端末やデジタル教科書を活用することで、学びの継続が円滑になります。

